

特集 両宮山古墳墳丘裾保存整備工事



満水時（南西から）↑

平成 29 年度から開始した両宮山古墳墳丘裾保存工事の 3 年目が終了しました。おかげをもちまして令和 2 年 3 月末時点で、古墳の西側部分の工事が完了しました。

墳丘裾の工事は両宮池の波浪による墳丘裾の浸食・崩落対策のために行っています。護岸工事の工程は、捨石による土台を設置し、異形フトンかごを2段積むことで、波浪による浸食を防ぎます。同様の護岸工事を今年度も 10 月～3月の期間で行う予定です。工事車両の通行やため池の開栓など、近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、どうぞご協力をお願いします。

フトンかごを積んだ様子↓



墳丘西側の整備状況（南西から）↑

日本遺産構成文化財「両宮山古墳」に看板を整備しました！

日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進協議会は、ストーリーや文化財の価値を伝えるため、両宮山古墳に新たに看板を整備しました！

看板には、解説文とともに英訳や、古墳の空撮映像QRコード※が掲載されています。海外の観光客の方々にも、その場で日本遺産を楽しんでいただけるように工夫しています。

両宮山古墳以外にも主要な構成文化財には看板を設置していますので、ぜひ足を運んでみてください♪

※両宮山古墳空撮映像QRコード
をぜひご覧ください！
YouTubeで上空からの映像を見
ることができます！



観光案内所（稚媛の里）の
駐車場に設置しています



ローカルアラカルト vol. ③

平成30年11月2日、旧赤坂尋常高等小学校校舎は国の登録有形文化財として登録されました。

明治43(1910)年、本校舎は現在の久米南町(現 誕生寺小学校)に建築されましたが、昭和48(1973)年に、校舎の建替えを機に現在の赤磐市馬屋に移築されました。

アーチ状の装飾やタスキ状の装飾筋交い等、意匠を凝らしたデザインが特徴的であることから、設計者は当時岡山県内で学校建築を多く手掛けた江川三郎八(1860～1939年)ではないかとの説があります。

きゅうあかさかじんじょうこうとうしょうがっこうこうしや

◆旧赤坂尋常高等小学校校舎◆

この校舎は高月小学校跡地にありますが、最初から高月小学校に建っていたものではありません。



名前の由来は、現在の誕生寺小学校が昔「赤坂尋常高等小学校」という名称であったためです。

*旧赤坂町には縁もゆかりもありません。

赤磐市教育委員会 令和2年6月5日発行

〒709-0816 岡山県赤磐市下市337番地

TEL 086-955-0710

URL <http://www.city.akaiwa.lg.jp/bunkazai/index.html>